

領域8 インフォーマルミーティング

開催日時: 2016年9月15日 12:30-13:30

開催場所: 金沢大学 JD 会場

出席者

領域代表 (任期: 2016/4-2017/3)

佐藤憲昭 (名大院理)

領域副代表 (任期: 2016/4-2017/3)

常次宏一 (東大物性研)

運営委員 (任期: 2015/10-2016/9)

八島光晴 (阪大基礎工), 清水直 (理研), 三澤貴宏(東大物性研), 太田幸宏(RIST 神戸センター)

運営委員 (任期: 2016/4-2017/3)

石田行章 (東大物性研), 北川俊作(京大理), 近藤晃弘(東大物性研), 那須讓治(東工大院理)

次期運営委員 (任期: 2016/10-2017/9)

本多史憲(東北大金研), 赤城裕(東大理), 笠原成(京大理), 鮎川晋也(青学大理工)

13:30 分前後の出席者数: 20 名程度 (上記を含む)

1. 秋季大会サマリー

1.1 講演数

・総件数: 612 件 (cf. 2015 年秋@関大: 547 件)

[低温] 口頭: 232 件, ポスター: 143 件

[磁性] 口頭: 125 件, ポスター: 112 件

・発表件数は非常に多く, (過去の大会と比較しても) 盛況であったと考えられる

1.2 シンポジウム, 企画講演, 招待講演

(1) シンポジウム, 企画講演 (2 件)

企画講演 9月14日 14:10-14:40 JA 会場

提案者: 佐藤憲昭 (名大院理)

講演者: 松平和之 (九工大)

「パイロクロア酸化物 $\text{Ln}_2\text{Ir}_2\text{O}_7$ における金属絶縁体転移」

企画講演 9月15日 9:30-10:00 JB 会場

提案者: 佐藤憲昭 (名大院理)

講演者: 野原実 (岡山大理)

「化学結合の切断によって発現する IrTe₂ と AuTe₂ の超伝導」

(2) 招待講演, 合同シンポジウム等 (9 件)

招待講演 9 月 14 日 13:30-14:10 JA 会場 (領域 8, 3)

提案者: 網塚浩 (北大理)

講演者: Suellow Stefan (Technical Univ. of Braunschweig)

「Low dimensional frustrated quantum magnets: A playground for solid state physics」

(日本語タイトル) 「低次元フラストレート量子磁性体: 固体物理学のためのプレイグラウンド」

(以下, 領域 8 は共催)

シンポジウム 9 月 13 日 13:40-17:10 AG 会場 (領域 5, 4, 8)

提案者: 石田邦夫 (東芝研開セ)

「光が切り開く新しい時空間観測技術」

シンポジウム 9 月 14 日 13:00-16:35 JB 会場 (領域 9, 3, 5, 7, 8, 10)

提案者: 常行真司 (東大院理)

「材料研究が拓く界面・不均一系の物性科学」

シンポジウム 9 月 14 日 13:30-16:45 AJ 会場 (領域 4, 3, 5, 7, 8, 9)

提案者: 塩見雄毅 (東北大金研)

「トポロジカル材料開発の新展開」

シンポジウム 9 月 13 日 13:30-16:50 AG 会場 (領域 5, 8, 9)

提案者: 和達大樹 (東大物性研)

「遷移金属酸化物表面・界面の新しい電子状態とその分光手法による解明」

シンポジウム 9 月 15 日 9:00-12:25 AJ 会場 (領域 7, 8)

提案者: 佐々木孝彦 (東北大金研)

「新しいアプローチによる電荷制御と物性開拓」

シンポジウム 9 月 15 日 9:00-12:30 AG 会場 (領域 3, 7, 8, 11)

提案者: 坂井徹 (兵庫県立大物質理)

「強磁性相互作用を含むフラストレート量子磁性体の新奇物性」

(英語タイトル) 「New Phenomena in Frustrated Quantum Magnets with Ferromagnetic Interactions」

招待講演 9月13日 13:30-14:10 AA会場 (領域3, 7, 8, 11)

提案者: 利根川孝 (神戸大理)

講演者: 川村光 (阪大理)

「ランダムネスが誘起する3角, カゴメ格子上の量子スピン液体」

招待講演 9月15日 13:30-14:05 AA会場 (領域6, 8)

提案者: 白濱圭也 (慶大理工)

講演者: 佐々木豊 (京大院理)

「磁気共鳴映像法によるカイラル超流動ヘリウム3中のドメインウォールの観測」

1.3 プログラム編成のながれ

(1) シンポジウム日程を決定

- ・本来は第一に決定すべき事項
- ・今回は領域8主催のシンポジウムがなかった (次期運営は経験をつめなかった)
- ・次回のプロ編では過去の運営 ML を参照していただきたい

(2) 口頭発表

- ・低温と磁性のバランスを考えて配置
- ・遠方地からの参加者を考慮し, 最終日午後は使用しない
- ・結果, 少しタイトなスケジュールとなった
- ・スケジュールについて, 今回は特に苦情なし
- ・苦情があれば, 最終日午後の利用も考えてよいのかもしれない

(3) ポスター発表

- ・磁性, 低温の2日間を要求したが, 3日間に分割 (9/14am, 9/14pm, 9/15am)
- ・領域10と会場交換交渉をし, 9/14pmを9/15pmとした (9/15は口頭発表セッションが少ないため)

(4) 口頭発表とポスター発表の配置

- ・口頭発表となるべく内容のオーバーラップないよう工夫 (鉄ヒ素は仕方なし)

1.4 報告事項, 注意点など

(1) シンポジウム

- ・主催のシンポジウム件数は原則3件
- ・点数をつけて上位3件を採用
- ・詳細については, 過去の運営 ML を参照

(2) 会場

- ・会場のサイズは比較的大きなものを用意していただいた
- ・ほとんどの会場が一つの建物に収まる
- ・オーラル会場とポスター会場が非常に遠い（大学の構造上、仕方なし）

(3) 他領域との合同セッション（おもに低温）

- ・組み方は複雑なので注意
- ・基本はプログラムに「領域〇〇と合同」と記載すればよい
- ・例外

マルチフェロ：今回は領域 8 で開催。次回は領域 3 か？

トポロジカル：領域 4,8,9 が持ち回り。今回は領域 4 で単独（合同希望せず）

電界効果：今回は領域 8（領域 7 より依頼があったため）。次回は領域 7 と相談

- ・過去に、「2 連続希望したセッションと異なる領域で発表させられた」という苦情あり(領域 8 ではない)。合同セッションを組む場合は、申請者の意志を配慮

2 次期領域代表, 副代表の紹介

- ・次期代表（任期: 2017/4-2018/3）：常次宏一（東大物性研）
- ・次期副代表（任期: 2017/4-2018/3）：吉村一良(京大理)

3. 運営委員の体制

- ・代表, 副代表, Web・ML 担当, 書記について次期担当者を決める
- ・現運営委員(任期:2016/3-2017/3)で相談。決定次第, 運営 ML にて報告 (9.を参照)

4. 次々期運営委員の承認

- ・各運営委員（任期: 2016/4-2017/3）からの推薦
速水賢（北大）[磁性(理論)], 道村真司（埼玉大）[磁性(実験)],
岡本佳比古（名大）[低温(実験)], 村川寛（阪大）[低温(実験)],
今井良宗（東北大）[低温(実験)]
- ・拍手をもって, 全員承認される

5. 学会事務局からの確認事項

5.1 マイページ

- ・学会登録のシステム変更

- ・リマインドメールをだすことで対応

5.2 代議員

- ・領域から5人まで推薦可能
- ・これまで領域8として、どのように対応してきたか不明
- ・以前の議題等を調べ、どのように決定するかについて、運営ML等で後日相談

5.3 JPSJ 投稿料の無料化

- ・たくさん投稿してください

6. 領域委員会報告 (5/18 に開催)

6.1 企画, 招待講演

- ・すべて修正なく承認

6.2 プログラム編成会議

- ・一人以上出席すればよい. 出席するか否かを事前に申し出る
- ・出席形態について, 次の議題で集中して討議 (7.を参照)
- ・プロ編時の座長情報: 会員番号は不要に. メールアドレスだけで構わない

6.3 シンポジウムの日程

- ・プログラム編集会議で調整
- ・領域間の連絡責任者は運営委員代表に
- ・異なる領域での講演について苦情あり (領域8であるかは不明)

6.4 若手奨励賞の聴衆数

- ・(朝早いセッションのためか) 聴衆数が少ない, との意見あり
- ・領域8においても, 同様の傾向
- ・時間の配慮を

6.5 新しい領域MLについて

- ・ML管理について(やや)懸念事項があり(8.を参照)
- ・物性研に移動も(将来的には)視野に
- ・後ほど集中して討議 (8.を参照)

6.6 シンポジウム等への物理学会主催に関わる注意

- ・参加費徴収をする形態の会議への主催は原則認めない

6.7 マイページに関する告知

- ・リマインドメールをだすことで周知

7. プログラム編集会議の参加人数について

7.1 参加人数削減の一例

- ・現行（全員）を4人（代表, 副代表, 次期代表, 次期副代表）へ
- ・良い点：低温と磁性から選出. 経験の継承
- ・悪い点：次期代表と次期副代表の決定を早めないといけない

7.2 次回プロ編の方針

- ・次期運営委員が決めたほうがよい
- ・現運営委員からの意見: 人数が減ると少し作業時間は伸びるが, できないことはない (1時間 30分程度が2時間強に増える, 程度?)
- ・次期運営委員の意見: 4人で作業することに決定. 次期および次次期の代表および副代表は決定したい, 運営 ML にて報告
- ・リマーク: 代表と副代表は低温と磁性より交代しながら選出, という慣習は引き継ぐこと
- ・次回のプロ編で, 4人体制を試す

7.3 今後

- ・4人で厳しい場合は元に戻すことも検討

8. 新しい領域メーリングリスト (ML) について

8.1 経緯

- ・8/2 に物理学会運営の新 ML へ移行 (学会提供の ML に移行)
- ・理由: 旧 ML 運営(東北大物性理論のボランティア) の負担増
- ・旧 ML にて移行のアナウンス. 新 ML が受け取れない場合は連絡を依頼

8.2 現状

- ・大きな問題なく動いている.
- ・8, 9月 は共存. 10月以降は旧 ML が完全停止
- ・旧 ML 停止前に, 旧 ML で再度アナウンス予定
- ・問題発生の対応: 業者に直接連絡をとれず. 物理学会を介してのみ

- ・今後: 重要な問題が発生したら, 物性研のサーバへの移行も検討するかもしれない

8.3 変更点

(1) 返信先の設定変更

- ・返信先が送信者から ML のアドレスに変更
- ・新 ML の「仕様」のため修正できず

(2) モデレーター制

- ・誤配信を防ぐため, 運営委員が確認のあと ML に配信
- ・手動のため少し時間がかかる可能性
- ・今のところ誤配信はない
- ・誤配信がなければ廃止する可能性も検討 (将来の運営委員が適宜判断)

(3) 加入・脱退方法

- ・ML の管理人にメールをして, 加入・脱退
- ・手動のため少し時間がかかる可能性

8.4 その他

- ・Web 担当者の手間が少し増える (月数回程度ではあるが)
- ・移行作業に関して三澤 氏, および楠瀬博明 氏 (明大理工) に感謝

9. 追記: インフォーマルミーティング後の決定事項

- ・北川 氏より次期および次々期運営体制決定の報告 (9/15, jps-f8staff:02066)

次期 [任期: 2016/4 – 2017/3]

代表: 北川, 副代表: 那須, Web・ML: 石田, 書記: 足立

次々期 [任期: 2016/9 – 2017/10]

代表: 本多, 副代表: 笠原

Web・ML と書記は次の年次大会ごろに決定予定

以上